

会議要旨

【開催概要】

会議名称	令和6年度 第2回上牧町子ども・子育て会議
開催日時	令和6年11月27日(水) 14:30~15:10
開催場所	上牧町役場(本庁) 3階 委員会室
出席委員 (名簿順表記)	・高原委員・佐野委員・川島委員・中村委員 ・福井委員・柏原委員・澤田委員・伊藤委員 ・植村委員・谷口委員・山田委員・森田委員 ・淀委員・田野委員・辻本委員・尾崎委員 ・寺口委員・俵本委員・林委員・辻村委員(代理:日高) (計20名)
欠席委員	・藤岡委員・松井委員
事務局	健康福祉部こども未来課:木下課長、宮本課長補佐、浅井係長 計画策定委託業者:(株)長大(木原、吉本)
会議次第	1. 開会 2. 議事 (1) 第3期上牧町子ども・子育て支援事業計画について (2) その他 3. 閉会
公開 / 非公開	公開
傍聴者	0人
その他	なし

【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <p>本日の会議の成立の確認（委員 22 名中 20 名出席）</p> <p>※事前配布資料を確認</p>
事務局	<p>2. 議事</p> <p>(1) 第 3 期上牧町子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>資料の「子ども・子育て支援事業計画案」を説明。</p>
委員長	<p>（委員に質問・意見を求める）</p>
植村委員	<p>表中の量の見込みと確保方策について、見方を教えていただきたい。現状実績値として令和 5 年度、6 年度で見込みを上回っているが、計算上そうならざるを得ないのか、それとも実際に確保するのは確保見込みの数字であるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>先ほどおっしゃっていただいた通りであるが、量の見込みを算出するために、国の示す量の見込みの算出用のための手引きがある。その手引きに基づいて、量の見込みを導き出している。</p> <p>量の見込みを算出後に、確保方策で、町の事業としてどれだけ受け皿を持って事業を進めていくかを過去の実績や量の見込みを勘案し、町で確保方策の値を導き出している。確保方策は、町に申請や申し込みがあれば、対応可能であるということで記載している。</p>
委員長	<p>(2) その他</p> <p>（委員に質問・意見を求める）</p>
伊藤委員	<p>中学校の統廃合について、進捗状況を伺いたい。各地域の保護者や、各管理者から相談を受けているため、現在の進捗とこれからの動きを教えていただきたい。</p>
教育総務課長 補佐	<p>中学校の統合に向けて、進捗状況に関しては学校適正化だよりを不定期で発行しており、広報に折り込む形で配布している。本日までに No. 8 まで発行している。</p>

	<p>中学校統合の時期は、令和8年4月を予定しており、校舎の場所は、現在の上牧中学校のグラウンドである。現段階の想定では、校舎はコンクリート造4階建て、クラス数は各学年4クラスで、工事は令和8年3月まで続くため、それまで既存の学校で活動し、工事完了後の年度末に移転する予定である。</p> <p>現在の取り組みとして、環境整備に関しては、令和6年10月から工事を開始しており、今後校舎やプールの整備を予定している。令和8年3月まで工事が続き、令和8年度以降、既存の校舎を解体する流れである。令和9年度からは、外構やグラウンド、駐車場の整備を予定している。工事は、令和9年度中に概ね完了する予定である。</p> <p>ソフト面では、学校統合準備委員会を令和4年から設け、4つの部会に分かれて、統合に係る諸課題の対応等について検討している。また、総務部会で学校名や、制服、校章、校歌、その他各学用品について検討している。学校名に関しては、以前、公募投票を行い、上牧中学校に決定した。制服と校歌に関しては、現在、制服の投票と校歌のフレーズ募集を行っている。校章に関しては、各校でプロジェクトチームを立ち上げ、製作している。その他の学用品に関しては、学校主体で現在選定中である。通学部会では、通学のあり方について検討しており、主に上牧中学校に通学するにあたっての通学手段や、安全対策について協議中である。</p> <p>学校教育部会では、主に部活動に関する検討をしており、地域移行といった地域の方に部活動の主体を移す流れとなっており、そこに向けた検討協議を行っている。</p> <p>最後、PTA部会では、2つのPTA組織を1つにするにあたり、会則の統合や活動内容、会費の取り扱い等について検討している。</p> <p>学校統合に関する保護者向けの説明会を、早ければ年内に開催したいと考えており、その際には、詳細な内容をお伝えする予定である。関係先と調整後、時期を決定し、周知する。</p>
事務局	<p>今後の本会議の予定について、報告する。パブリックコメントを来年1月中旬から実施予定で、パブリックコメントを踏まえた最終案を検討するため、第3回会議を2月下旬に予定している。</p>
副委員長	<p>本計画でいろいろな子育てに関する事業、新しい事業が開始されるということで、多くの支援事業を今後予定していると思うが、保育者を目指す学生が、減ってきていることが問題である。この事業を行うためには、保育者が必要であり、保育教育を行える保育者の確保と質の向上が求められてくると考えている。私も現在、保育環境を見学に行っており、そこで地域子育て支援事業などの事業を実施する際に、各地域の事業を見ると、地域ごとに特徴が見受けられる。</p> <p>例えばある地方にある幼稚園では、多くの絵本を集め、子どもが保護者の方と</p>

一緒に絵本を読むことができる場所を設けている。他の地域では、送迎時に、子どもを送迎するだけでなく、保護者と子どもを駅に送るシステムを作り、保護者が子育てに少し余裕が持てるような取り組みをしている地域がある。このように、求められているものが多くあるため、今後実施できることを、本町の保育園や幼稚園、自治体ができるような地域子育て支援事業を一緒に考えていきたい。

4. 閉会

以上